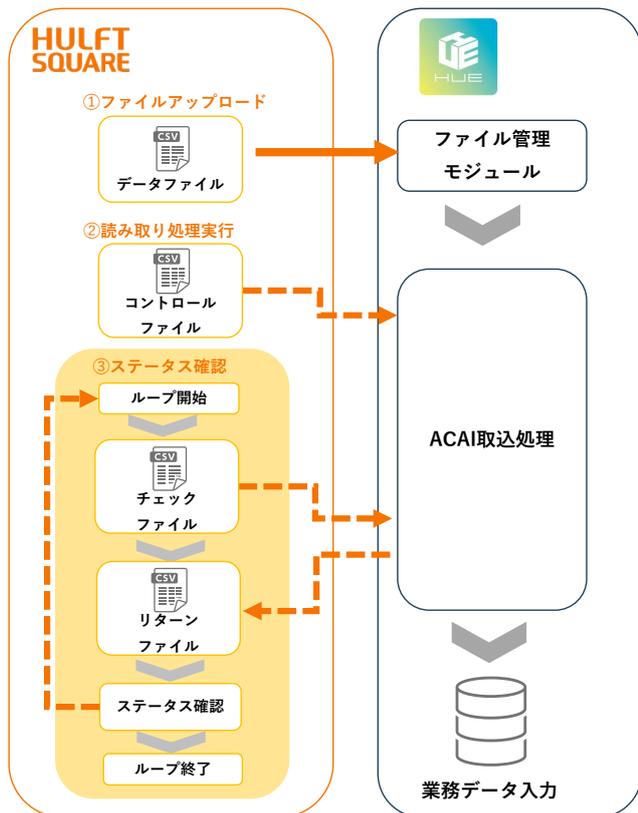
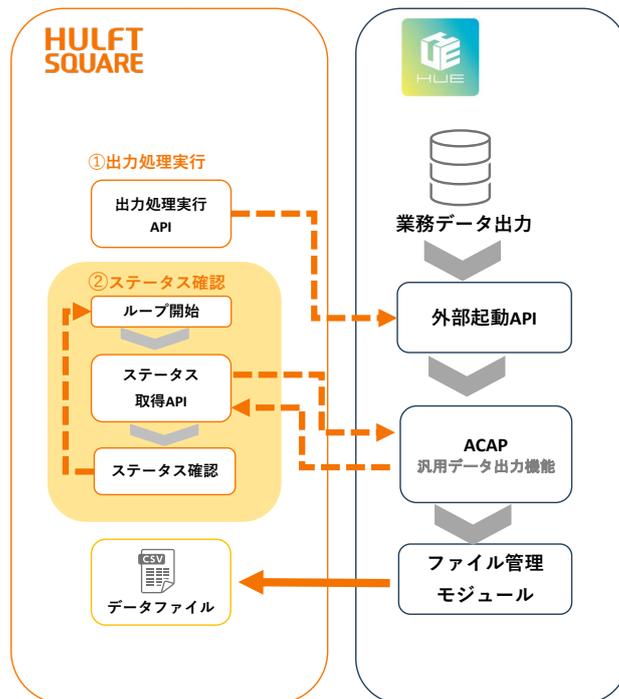


ACAI(HUEにデータを入力する処理)



ACAP(HUEからデータを出す処理)



HUE 連携用 HULFT Squareアプリケーションテンプレート スクリプト利用上の注意

利用について

本スクリプト内では、事前にHUE側に設定が必要な内容が多く含まれております。設定の仕方については提供元のベンダーまたはメーカーにご確認をお願いします
 ご利用前に、HUEが発行する WebAPIのエンドポイント、Client-ID および Client-Secret が必要です。事前に提供元のベンダーまたはメーカーにご確認をお願いします
 処理の内容について、同時実行が発生した場合の対策も実装していますが、データファイルの重複処理は対象外としておりますのでご利用の際はご注意ください

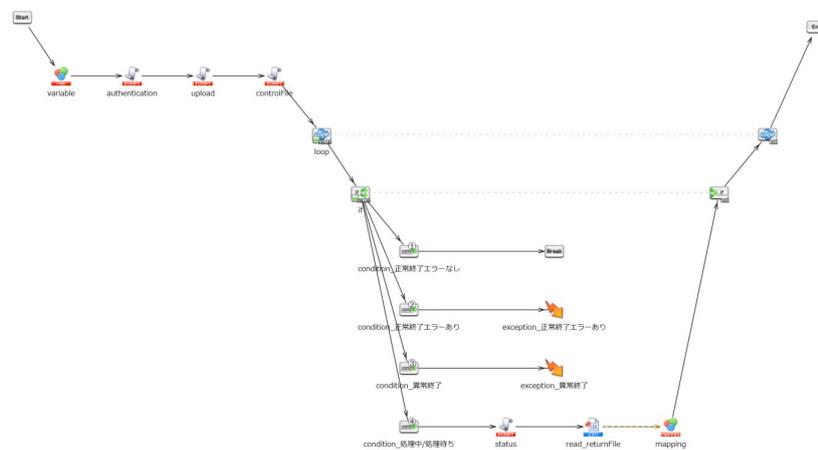
HUE 連携用 HULFT Squareアプリケーションテンプレート
スクリプト設定

コネクション設定

コネクタータイプ	REST接続
URL	ベンダー提供のAPIドキュメント参照
備考	APIエンドポイント

スクリプト名

hue_acai



スクリプト概要説明

ACAI(HUE)にデータを入力する処理を実施するHUEの親スクリプトです

- ACAIは、HUEの入力画面を経由せずにAPIでデータを登録するための機構です
- 基本的に取り込み可能なファイル形式はCSVファイルのみです
- ACAIは所定のフォルダに、アップロードデータファイルとコントロールファイル(処理実行命令ファイル)を配置することで処理を実行することができます

【HULFT Squareストレージの想定ディレクトリ構成】

ACAI(HUE)にデータを入力する処理は、ファイルアップロード、ダウンロードのAPIを複数回使用します。

各APIで使用するファイルは、下記のようなディレクトリ構成での運用を想定しています。

acai

- ├ctrl #コントロールファイル、チェックファイルのディレクトリパス
- ├data #アップロードデータファイルの名前
- └logs #リターンファイルのディレクトリパス

初期設定項目(スクリプト変数)

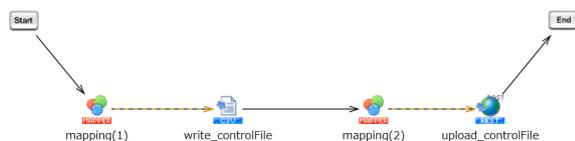
項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_clientSecret	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントシークレット
l_uploadFileName	必須	アップロードデータファイルの名前 ※HULFT Square上のCSVファイル名
l_ctrlFolderPath	必須	コントロールファイル、チェックファイルのディレクトリパス ※例"/<HULFT Squareワークスペース名>/acai/ctrl"
l_returnFilePath	必須	リターンファイルのディレクトリパス ※例"/<HULFT Squareワークスペース名>/acai/logs"
l_uploadFilePath	必須	アップロードデータファイルのディレクトリパス ※例"/<HULFT Squareワークスペース名>/acai/data"
l_renkeiSyorild	必須	HUEの連携処理ID

備考

スクリプトコピー後、スクリプト実行前にスクリプト呼び出しコンポーネントを開き、[完了]ボタンの押下が必要です

スクリプト名

hue_acai_controlFile



スクリプト概要説明

コントロールファイル(処理実行命令ファイル)スクリプト

コントロールファイルとは、取込み実行に必要な情報が記載されたtxtファイルの事です。

このファイルの情報をHUE側で読み、取込みを実施します

初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_ctrlFolderPath	必須	コントロールファイルのディレクトリパス ※HULFT Squareのストレージパス
l_accessToken	必須	APIトークン
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_uploadFileName	必須	アップロードデータファイルの名前 ※HULFT Square上のCSVファイル名
l_renkeiSyorid	必須	HUE の連携処理ID
l_returnId	必須	リターンID

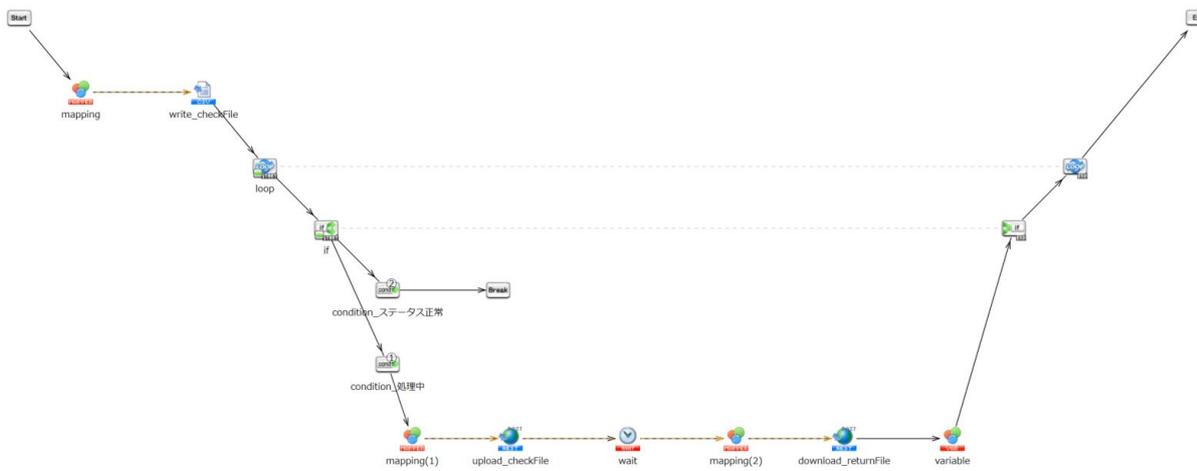
備考

コントロールファイルの名前はユニーク値で作成されます。エラー時の証跡としてHULFT Squareのストレージに格納されます

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acai) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acai_controlFile) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_acai_status



スクリプト概要説明

リターンファイルでの確認スクリプト

ACAI取込みの結果は、HUE の画面を介さない取込み結果の確認方法として「リターンファイルの出力」があります。

リターンファイルとはACAIの処理状況を確認するためのファイルです。

本処理は非同期処理となります。取込み指示用のコントロールファイル(処理実行命令ファイル)に記載した「リターンID」を引数として、

処理状況確認用のコントロールファイル(チェックファイル)を取り込むことで、サーバー上に処理状況が記載されたファイル(リターンファイル)を出力することが可能となります

初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_accessToken	必須	APIトークン
l_currentDateTime	必須	リターンファイルのタイムスタンプ
l_ctrlFolderPath	必須	コントロールファイル、チェックファイルのディレクトリパス ※HULFT Squareのストレージパス
l_returnFilePath	必須	リターンファイルのディレクトリパス ※HULFT Squareのストレージパス
l_returnId	必須	リターンID

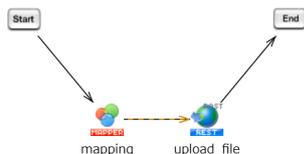
備考

チェックファイル、リターンファイルの名前はユニーク値で作成されます。エラー時の証跡としてHULFT Squareのストレージに格納されます

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acai) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acai_status) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_acai_upload



スクリプト概要説明

HUEへのデータファイル取込み用スクリプト

実際にHUEに取込みたい業務データが記載されたファイルをご使用ください

初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_accessToken	必須	APIトークン
l_uploadFileName	必須	アップロードデータファイルの名前 ※HULFT Square上のCSVファイル名
l_uploadFilePath	必須	アップロードデータファイルのディレクトリパス ※HULFT Squareのストレージパス

備考

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acai) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acai_upload) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_acap



スクリプト概要説明

ACAP(HUEからデータを出力する処理)を実施するHUEの親スクリプトです

- HUEのデータベース内の情報について、お客様が出力したい項目と範囲を指定してCSVファイル出力が可能です。
- HUEの外部起動APIという自動処理実行機能を動作させることで出力処理が行われます

HULFT Squareストレージの想定ディレクトリー構成

acap

└─ data #ダウンロードデータファイルのディレクトリパス

初期設定項目(スクリプト変数)

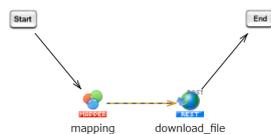
項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_clientSecret	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントシークレット
l_queryId	必須	HUE のクエリID (ACAPのID)
l_sourceFilePath	必須	ダウンロードデータファイルの名前 ※HULFT Squareで指定したファイル名でHUEからダウンロードされます
l_jobId	必須	HUEの外部起動APIで作成したジョブID (※実行処理IDとも言う)
l_outputFilePath	必須	ダウンロードデータファイルのディレクトリパス ※例"/<HULFT Squareワークスペース名>/acap/data"
l_queryParameter	省略可	HUE のクエリIDによって必要 (例: ACAPで出力するデータの期間などを指定)
l_jikkouPatternCode	必須	HUEの外部起動APIで作成した実行パターンコード

備考

スクリプトコピー後、スクリプト実行前にスクリプト呼び出しコンポーネントを開き、[完了]ボタンの押下が必要です

スクリプト名

hue_acap_download



スクリプト概要説明

HUEからデータファイル出力用スクリプト

HULFT Squareのストレージ上にHUEから出力したい業務データの出力先を決めるスクリプトです

初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_accessToken	必須	APIアクセストークン
l_sourceFilePath	必須	ダウンロードデータファイルの名前 ※CSVファイル
l_outputFilePath	必須	ダウンロードデータファイルのディレクトリパス ※HULFT Squareのパス

備考

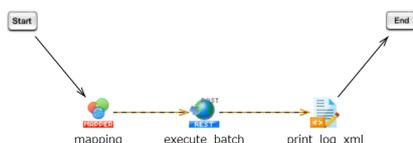
HULFT Squareのストレージにダウンロードされるファイルの名前はユニーク値として出力されます。

※ダウンロードされるファイルの名前はHULFT Squareのスクリプト上で固定値として出力させることも可能です

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acap) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acap_download) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_acap_execute



スクリプト概要説明

外部起動APIを実行するスクリプト

外部起動APIとは、予めHUE内部で作成したバッチプログラムをHULFT Squareから起動させることにより、HUE画面を起動することなく 処理を実行するための機能です。

転記、集計処理やプロダクト間連携などの際に利用することが出来ます。

本スクリプトはパラメーターに変動値を使ったAPIのスクリプトです

「HUE内部のAPIステータスコード」「処理状況確認APIの実行時に返る result」も確認しログに証跡として残します

初期設定項目(スクリプト変数)

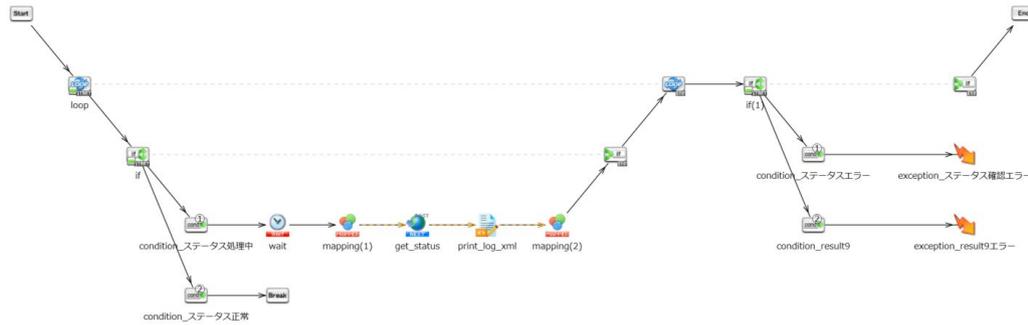
項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_queryId	必須	HUE のクエリID (ACAPのID)
l_accessToken	必須	APIアクセストークン
l_sourceFilePath	必須	ダウンロードデータファイルの名前 ※CSVファイル
l_jobId	必須	HUEの外部起動APIで作成したジョブID (※実行処理IDとも言う)
l_queryParameter	省略可	HUE のクエリIDによって必要 (例: ACAPで出力するデータの期間などを指定)
l_jikkouPatternCode	必須	HUEの外部起動APIで作成した実行パターンコード

備考

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acap) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acap_execute) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_acap_status



スクリプト概要説明

外部起動APIの処理状況を確認するAPIです
 処理状況を5回までループで確認します。「HUE内部のAPIステータスコード」が5回以上エラーだった場合は、後続の例外通知処理が行われます
 同時に「処理状況確認APIの実行時に返る result」も確認しエラーだった場合も後続の例外通知処理が行われます

初期設定項目(スクリプト変数)

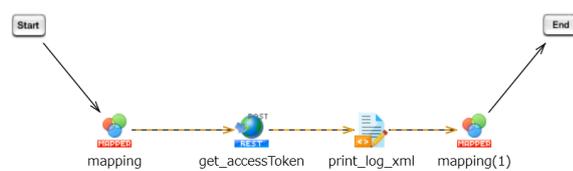
項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_clientSecret	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントシークレット
l_accessToken	必須	APIアクセストークン
l_queryId	必須	HUE のクエリID (ACAPのID)
l_jobId	必須	HUEの外部起動APIで作成したジョブID (※実行処理IDとも言う)
l_sourceFilePath	必須	ダウンロードデータファイルの名前 ※HULFT Squareで指定したファイル名でHUEからダウンロードされます
l_queryParameter	省略可	HUE のクエリIDによって必要 (例: ACAPで出力するデータの期間などを指定)
l_jikkouPatternCode	必須	HUEの外部起動APIで作成した実行パターンコード
O_result	必須	HUE のAPIステータスを取得

備考

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acap) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_acap_execute) の変数の設定は不要です。

スクリプト名

hue_authentication



スクリプト概要説明

認証用スクリプト
 HUEが発行する Client-ID および Client-Secret をもって、認証が許可されたサーバーであることを確認し、制御を可能にします。
 認証に成功した場合、アクセストークンが発行されます
 認証通過後はアクセストークンを利用してAPIが実行されます
 本スクリプトでは「HUE内部のAPIステータスコード」「処理状況確認APIの実行時に返る result」も確認しログに証跡として残します

初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_clientId	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントID
l_clientSecret	必須	APIトークンを取得するための認証用クライアントシークレット

備考

「初期設定項目(スクリプト変数)」の値は親スクリプト (hue_acaiまたはhue_acap) から引き渡されるので、子スクリプト (hue_authentication) の変数の設定は不要です。